

## 令和8年度網走市有林下刈業務委託 仕様書

本仕様書については、「下刈」作業の施工基準及び注意事項を以下のとおり定めるものである。

- 1 刈り払いは全刈りを下表区分とする。
- 2 草本、かん木、さき等の地被類は、原則として地際から10cm以下の高さで刈り払う。ただし、作業安全上明らかに支障となる場合は、この限りでない。
- 3 作業にあたっては、植栽木を損傷しないように十分注意し、もし損傷した場合は、すみやかに業務監督員へ報告する。
- 4 刈り払い物は、植栽木に覆いかぶらないように処理する。
- 5 つる類は、すべて地際から切断し、植栽木等に巻き付いた部分は除去する。
- 6 この仕様書により難しい場合は、業務監督員と協議し決定する。

施行箇所	施行面積	区分	林小班	樹種	林齢	傾斜※	摘要
字能取524①	2.22	全刈り (2回)	15-45	トドマツ	2	傾斜地	R07被害地造林(春) ※R04人工造林
字能取524②	3.01	全刈り (2回)	15-50	トドマツ	2	傾斜地	R07被害地造林(春) ※R05人工造林
字能取524③	3.25	全刈り (2回)	15-48 旧15-46	グイマツ 雑種F1	3	傾斜地	R06人工造林(秋)
字能取179-4	2.83	全刈り (1回)	12-58 (旧12-57)	クリーン ラーチ	1	傾斜地	R08被害地造林(春) ※R06人工造林
字能取512-1	4.28	全刈り (1回)	8-74	クリーン ラーチ	2	傾斜地	R07人工造林(秋)
計	15.59						

※斜度10°以下の施工地が50%以上を占める場合は平坦地、  
斜度10°超が50%以上を占める場合は傾斜地。